



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月13日

上場会社名 HPCシステムズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6597 URL <http://www.hpc.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)小野 鉄平
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)下川 健司 (TEL) 03-5446-5530
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の業績 (2019年7月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	2,359	—	250	—	238	—	161	—
2019年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	39.67	37.18
2019年6月期第2四半期	—	—

(注) 2019年6月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年6月期第2四半期の数値及び2020年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	2,532	1,306	51.5
2019年6月期	2,277	1,053	46.2

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 1,304百万円 2019年6月期 1,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,785	7.2	469	27.0	457	24.7	309	41.1	75.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期2Q	4,090,000株	2019年6月期	4,040,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	—株	2019年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期2Q	4,066,630株	2019年6月期2Q	—株

(注) 1. 当社は、2019年7月10日付けで普通株式1株につき普通株式500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 当社は、第2四半期の業績開示を2020年6月期より行っているため、2019年6月期第2四半期の「期中平均株式数」を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善により景気は緩やかな回復基調で推移したものの、相次ぐ自然災害の発生や消費増税の影響及び米中の貿易摩擦の拡大等による世界経済の低迷を受け、国内工場生産や輸出に陰りがみられるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するコンピューティング業界においては、引き続きクラウド、人工知能(AI)、ディープラーニング、ビッグデータ処理などの技術革新の進展、東京オリンピック・パラリンピックに向けた設備投資などを背景に、民間企業、大学等公的機関の研究開発部門における設備投資需要が高まり、引き続き堅調に推移しております。

このような経営環境の下、当社は経営理念である「人とコンピューティングの力で世界平和に貢献する」のもと、科学技術計算用コンピュータ事業(以下 HPC事業)及び産業用コンピュータ事業(以下 CTO事業)の収益拡大に取り組んでおります。

科学技術計算用コンピュータを展開しているHPC事業は、従来の大学研究室や公的研究機関からの受注を確保しつつ、民間企業の研究所・R&Dセンターなどで実施されている大規模・高精度な科学技術計算向け高性能計算機の拡販を強化し、受注に繋げております。

産業用組込コンピュータを展開しているCTO事業は、半導体検査装置、医療装置、アミューズメント機器向け継続顧客の受注継続に努めるほか、画像処理、ディープラーニング、スマートファクトリーなどを戦略分野と定め、新規顧客の獲得に注力しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、2,359,644千円、営業利益250,594千円、経常利益238,294千円、四半期純利益161,305千円となりました。なお、第1四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① HPC事業

大学研究室など公的機関向け高性能計算機の販売については堅調に推移しました。また、ディープラーニング、ビッグデータ処理、及び自動運転分野における積極的な設備投資を背景に民間企業向け科学技術計算用高性能計算機の販売は好調に推移しましたが、前年同期に計上した液浸サーバシステムの大口販売による減少を吸収するにはいたりませんでした。但し、低粗利の大口販売がなくなった一方、採算の良い案件が増加したことで利益率が改善いたしました。

以上の結果、HPC事業の売上高は1,619,480千円、セグメント利益は176,168千円となりました。

② CTO事業

半導体検査装置、アミューズメント機器向けなどの継続顧客に対する売上は堅調に推移しましたが、前年同期に計上したディープラーニング分野におけるデータサイエンティスト向けワークステーションの大口販売による減少を吸収するにはいたりませんでした。

以上の結果、CTO事業の売上高は740,164千円、セグメント利益は74,426千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,335,908千円となり、前事業年度末と比べ282,392千円増加いたしました。これは主にたな卸資産が79,774千円、受取手形が27,254千円、前渡金が24,030千円減少したものの、売掛金が270,487千円、電子記録債権が144,930千円増加したことによるものであります。固定資産は196,821千円となり、前事業年度末と比べ26,736千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が12,663千円、機械及び装置が6,081千円、ソフトウェアが5,256千円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は2,532,729千円となり、前事業年度末と比べ255,656千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,133,056千円となり、前事業年度末と比べ37,845千円増加いたしました。これは主に賞与引当金が55,458千円、未払法人税等が37,659千円、1年内返済予定の長期借入金が34,959千円、役員賞与引当金が21,708千円、未払金が20,427千円減少したものの、短期借入金が200,000千円増加したことによるものであります。固定負債は93,362千円となり、前事業年度末と比べ35,035千円減少いたしました。これは長期借入金が35,035千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は1,226,418千円となり、前事業年度末に比べ2,810千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,306,310千円となり、前事業年度末と比べ252,845千円増加いたしました。これは公募増資に伴い資本金及び資本準備金がそれぞれ45,770千円増加した他、四半期純利益161,305千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月26日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました2020年6月期の業績予想につきましては変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	938,336	954,093
受取手形	28,334	1,080
売掛金	302,632	573,119
電子記録債権	127,462	272,392
製品	33,695	14,379
仕掛品	164,375	142,158
原材料及び貯蔵品	269,982	228,492
未着品	45,674	48,922
前渡金	81,129	57,099
前払費用	29,583	26,321
その他	32,309	17,849
流動資産合計	2,053,515	2,335,908
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	39,233	37,628
機械及び装置（純額）	32,046	25,965
車両運搬具（純額）	672	519
工具、器具及び備品（純額）	4,891	4,365
土地	14,698	14,698
有形固定資産合計	91,542	83,176
無形固定資産		
ソフトウェア	48,570	43,314
無形固定資産合計	48,570	43,314
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	330	37
繰延税金資産	72,742	60,079
その他	10,360	10,202
投資その他の資産合計	83,444	70,329
固定資産合計	223,557	196,821
資産合計	2,277,072	2,532,729

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	847	8,609
買掛金	132,037	150,644
短期借入金	350,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	113,194	78,235
未払金	42,764	22,337
未払費用	39,853	27,062
未払法人税等	108,234	70,574
前受金	85,029	98,642
預り金	5,669	6,910
賞与引当金	93,067	37,609
役員賞与引当金	31,327	9,619
製品保証引当金	18,279	26,200
その他	74,906	46,612
流動負債合計	1,095,210	1,133,056
固定負債		
長期借入金	128,397	93,362
固定負債合計	128,397	93,362
負債合計	1,223,607	1,226,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,000	198,770
資本剰余金		
資本準備金	150,000	195,770
その他資本剰余金	101,000	101,000
資本剰余金合計	251,000	296,770
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	648,125	809,431
利益剰余金合計	648,125	809,431
株主資本合計	1,052,125	1,304,971
新株予約権	1,339	1,339
純資産合計	1,053,464	1,306,310
負債純資産合計	2,277,072	2,532,729

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,359,644
売上原価	1,555,724
売上総利益	803,920
販売費及び一般管理費	553,325
営業利益	250,594
営業外収益	
受取利息	15
保険配当金	387
業務受託料	750
その他	206
営業外収益合計	1,359
営業外費用	
支払利息	1,539
為替差損	772
株式公開費用	11,316
その他	32
営業外費用合計	13,659
経常利益	238,294
特別損失	
固定資産除却損	669
特別損失合計	669
税引前四半期純利益	237,624
法人税、住民税及び事業税	63,654
法人税等調整額	12,663
法人税等合計	76,318
四半期純利益	161,305

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社株式は、2019年9月26日に東京証券取引所マザーズ市場に上場し、2019年9月25日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による増資により、発行済株式総数が50,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ45,770千円増加しております。この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金は198,770千円、資本準備金は195,770千円となっております。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間（自 2019年7月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 損益計算書 計上額
	HPC事業	CTO事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,619,480	740,164	2,359,644	—	2,359,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,619,480	740,164	2,359,644	—	2,359,644
セグメント利益	176,168	74,426	250,594	—	250,594

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。